

「創造活動・24時間学校(2)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

(4) 半月が昇ってきた!

今回の活動の目的の一つに、「半月を見よう」ということがあった。本当は満月がよかったのだが、日程の都合上「半月見」ということになったのだ。この日の月は「月相7」で、きれいな上弦の月だった。月相というのは、「太陽と月の黄経差(°)」 $\div 360 \times 28$ と計算した値だ。月齢とちがって、月の正確な形状を表わすので、天体観望には便利である。



月相7の半月(上弦)は、正午ごろ東の空から昇り、18時ごろ南中、真夜中に西に沈むので、今回のような午後～夜の活動では観察しやすく、誠に都合が良い。本校の校庭からは、東の地平線付近の空がビルや樹木で隠れているので、実際に月が顔を見せたのは14:30頃だった。私よりも子どもたちのほうが先に気付いた。



面白いのはAの月(半月)とBの球形高置水槽の太陽光の当たり方が似ていることだ。形状だけでなく、

明暗境界線の角度も、ほぼ一致している。球形の水槽をもっと真横から見ると、半月の形状と完全に一致する。月の形状と太陽光の関係を考えさせるには、なかなか良い組み合わせだと思う。

(5) 「半月汁」サイコー!

この日は夜の行事もあるので、少し早目の夕食になった。子どもたちが自分で作った「おにぎり」と、「半月汁」がつく。「半月汁」というのは、お母さんボランティアの方が考えて作ってくださった、「半月が入った」味噌汁のことだ。



「半月汁」は具たくさんで、その名の通り「半月」がたくさん入っていた。大根、ニンジン、それにかまぼこが半月型で、子どもたちは大喜び。



「こんなにおいしい味噌汁は、生まれてはじめて!」「ぼく、キノコきらいなんだけど、全部食べちゃった」私一杯いただいたが、本当にサイコーだった。